

福井県立若狭図書学習センター1/2

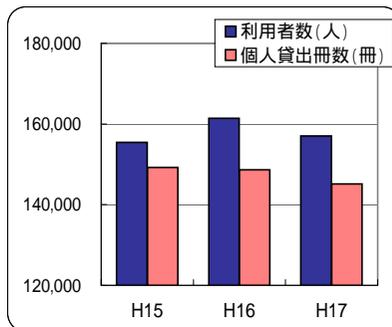
若狭図書学習センターは、良い学びの場を提供します

所在地	小浜市南川町6-11		
設置年月日	平成元年6月2日(平成7年10月1日改称)		
施設の種類	図書館・生涯学習センター	施設管理主体	県
設置の目的	図書館機能と生涯学習センター機能を備えた複合施設で、図書や資料を有効に活用し、学習し、表現し、交流する場やそのために必要な学習情報を提供し、県民一人ひとりの生涯学習の充実を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建て・延床面積4,697.99㎡ 図書部門：蔵書25万冊(開架7.5万冊、書庫17.5万冊)		
職員数	職員9人 アルバイト3人 計12人		

利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	155,441	161,379	156,986
個人貸出冊数(冊)	149,200	148,613	145,146
マナビ・フェスティバル(人)*	230	110	120
福井ライフ・アカデミー主催事業(人)	1,723	1,239	1,053
若狭図書学習センター主催事業(人)	199	374	650

*記念講演会入場者数



利用者負担(利用料金)等

使用時間	施設			
	午前 9:00 ～12:00	午後 12:00 ～17:00	全日 9:00 ～17:00	17時以降 1時間につき
多目的ホール	8,800円	16,000円	24,000円	3,000円
講堂	2,600円	4,000円	6,500円	800円
研修室	1,700円	2,600円	4,000円	500円

複写手数料	白黒	
	10円	80円

利用状況の推移

平成17年度は、例年のない積雪等の影響により入館者数・貸出冊数ともに前年度と比べて減少しています。今後とも、一層の利用者サービスの向上のための工夫に努めます。(図)

福井ライフ・アカデミー主催事業では、講演会講師の知名度や講演会テーマによって、参加者の人数にばらつきが出ました。県民のニーズに合ったテーマや講師の選定をさらに心がけます。(生)

若狭図書学習センター主催事業は、内容・回数ともに充実させたため、参加者が増加しました。(生)

(注) (図)は図書部門・(生)は生涯学習部門

平成17年度の特徴について

事業実績	開館日について、ゴールデンウィークの平日および夏休み期間中の月曜日を臨時開館するなど、県民の利便性の向上を図りました。
	センターだよりの発行やホームページへの掲載を通して、積極的に図書館の活動内容をアピールしました。(図)
	郷土の先覚者の気概を知っていただくため、「五箇条の御誓文」の原案となった由利公正直筆「議事之体大意」を入手しました。これを記念し、9月から特別記念展「五箇条の御誓文と由利公正」を開催しました。
	遠隔地の利用者が若狭図書学習センターで借りた本を地元の市町立図書館で返却できるようにするサービスを試行しました。(図)
	話題となった国内外のテーマに関する資料の展示や、郷土資料を新たな視点で紹介する展示を行うなど、各種企画展の充実を図りました。(図)
小学校等の体験学習や総合学習での利用を積極的に受け入れました。(図)	
福井ライフ・アカデミー事業における「生涯学習ボランティア養成講座」や「郷土学習講座」「現代的課題講座」は、高い受講率となりました。(生)	
センター主催事業における「こども映画会」(計4回)では、各回とも親子連れを中心とした100名前後の参加者がありました。(生)	

各種行事の開催

(図書館)

「秋の読書週間」、「ふるさとの日」、夏休み・春休みにあわせて、企画展を行いました。

さらに、嶺南地域在住の画家等の展示会を行いました。

また、年間を通じて、こどもコーナーおよび一般資料コーナーにて、テーマを設けた資料の展示紹介を行いました。

(生涯学習センター)

- 福井ライフ・アカデミー主催事業
 - 郷土学習講座
 - 家庭教育講座
 - 現代的課題講座
- マナビ・フェスティバル
- 広域学習グループ交流大会
- わくわくスクランブル
- 主催事業
 - こども映画会
 - おはなし会
 - クリスマス企画



図書部門の利用者サービス

・レファレンスサービス(調査・相談)

図書館司書が、利用者の調べ物に必要な資料や情報を紹介したり、資料を探す手伝いをするサービス

・リクエスト、相互貸借

利用者が求める資料を蔵書していない場合に、購入したり、県内外の図書館とのネットワークにより資料を借りて提供するサービス

・インターネット予約サービス

利用者が、家庭のパソコンからインターネットで県立図書館の資料を予約することができるサービス

・遠隔地利用者返却サービス

県立図書館や若狭図書学習センターから離れた市・町に居住する利用者が、県立図書館や若狭図書学習センターで借りた資料を近くの市町立図書館で返却できるサービス

若狭図書学習センターホームページ

<http://www.hokuriku.ne.jp/wakuwaku/>

福井県立若狭図書学習センター2/2

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

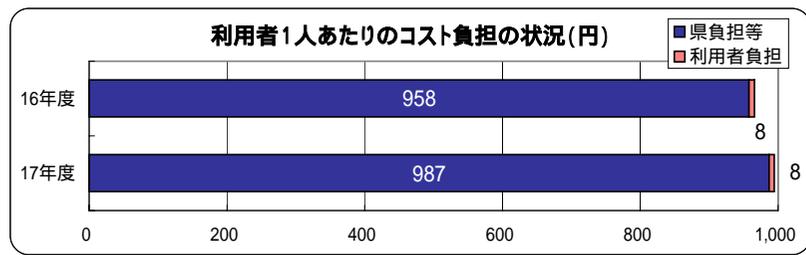
		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	86,949	55.7%	96.9%
	退職給与引当金繰入	271	0.2%	-
	計	87,220	55.9%	100.0%
物にかかるコスト	物件費	52,681	33.7%	99.8%
	維持補修費	2,275	1.5%	126.2%
	減価償却費	13,946	8.9%	100.0%
	計	68,902	44.1%	100.5%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	74	0.0%	100.0%
	計	74	0.0%	32.6%
合計		156,196	100.0%	100.2%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,005,224	99%	固定負債	71,010	100%
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	正味資産	934,214	99%
計	1,005,224	99%	計	1,005,224	99%

		(単位 千円)		
収入	利用料等収入	1,198	0.8%	97.5%
	その他収入	28	0.0%	87.5%
	一般財源	154,970	99.2%	100.2%

		(前年比)	
利用料等収入計	1,198,000 円		97.5%
利用者1人あたり平均利用料	8 円		100.0%
利用者1人あたりコスト	995 円		103.0%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

平成16年度で起債の償還が終了し、公債費負担はなくなりましたが、維持補修費が増加したため、行政コスト全体では前年比若干増加しています。
上記に加えて、利用者数が減少したため、利用者1人あたりのコストも若干増加(21円)しています。

施設の特徴

さまざまなジャンルの蔵書を有しており、生涯学習の拠点施設として、多様化・高度化する県民の学習ニーズに応えています。

(図書館)
嶺南地域の公共図書館の中心的な存在として、市町立図書館を通じた所蔵資料の貸出の他、レファレンスや複写サービス、また図書館訪問などを実施しています。
福井県、特に嶺南地域に関する資料の収集・保存にも取り組んでおり、同地域の歴史、文化、経済等の情報を広く県民に提供し、利用されています。

(生涯学習センター)
福井ライフ・アカデミー講座の充実の他、おはなし会などの子ども向け行事の開催を通じて、子どもの読書活動の推進も図っています。



今後の課題

より一層の利用拡大を目指して、県民の要望に沿ったサービスの充実が必要です。
市町立図書館ならびに生涯学習センターとの連携をさらに強めていきます。

今後の事業方針および取り組み内容

平成17年度の利用者数は減少しましたが、今後は以下の取り組みにより、利用者増を図ります。

(図書館)
・近隣保育園等の園外活動のコースに取り入れてもらえるようPRします。また、司書による「おはなし会」を実施します。
・遠隔地の利用者が、若狭図書学習センターで借りた本を地元の市町立図書館で返却できるサービスや、県立・市町立図書館間の資料搬送回数を充実し、市町立図書館を窓口にして県立図書館および若狭図書学習センターの資料をより利用しやすいにします。
・郷土の先覚者の足跡を学習するため、「解体新書」等を活用した企画展を開催する等、市町立図書館等との協力も含めて、貴重な資料の活用を図っていきます。
・郷土(特に嶺南地域)に身近に触れ、郷土の歴史や偉人を知ってもらう企画展を継続して実施します。
・「白川文字学コーナー」では、幅広い年齢層の県民が漢字・文字に親しめるよう、子ども向けの資料の充実にも取り組み、「白川文字学」の一層の普及啓発と本県における漢字文化の振興を図っていきます。

(生涯学習センター)
・福井ライフ・アカデミー主催事業において、県民の学習ニーズに対応した講座を開催していきます。また、県民自らが自主的に講座を企画運営する友愛塾の開催についても支援します。